

鳥取県「災害情報共有システム」事業概念図

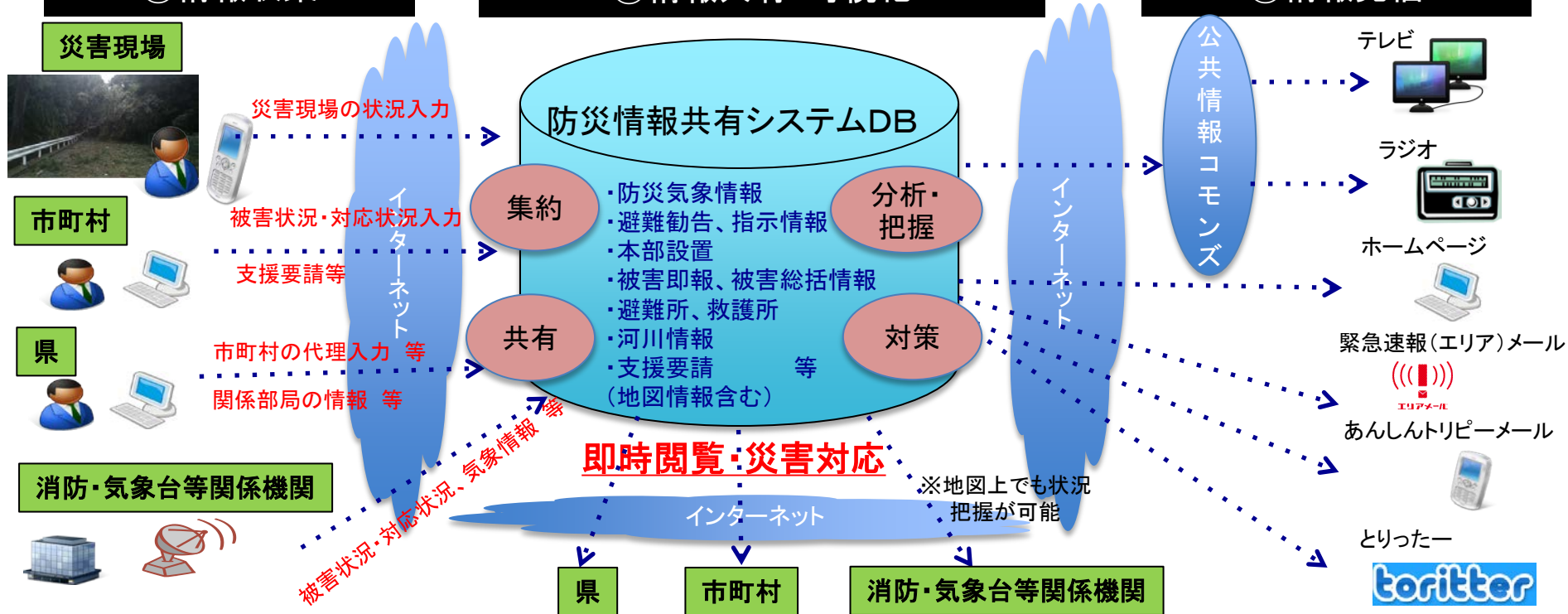
【事業概要】

災害時における県・市町村・防災関係機関等による災害対応業務の効率化や迅速化、住民等への情報伝達手段の拡充を図るため、災害情報(地図情報を含む)の集約、情報共有による災害対応、本部会議・広報業務を支援するとともに、公共情報コモンズシステム(テレビ等多様なメディアに配信する仕組み)との連携に資する「災害情報共有・業務支援システム」の整備を行う。

①情報収集

②情報共有・可視化

③情報発信



【市町村】

・現場情報、被害・対応状況、避難情報、支援要請等入力(随時・定時(3時間毎))

【県(実施部局・総合事務所)・防災関係機関】

・リアルタイム状況確認、被害・対応状況等入力(入力支援)

・現場確認、災害応急活動状況・支援要請等入力

情報入力・共有・災害対応サイクル

【県(実施部局・総合事務所)・防災関係機関】

・本部会議結果等を踏まえた災害応急活動状況入力、リアルタイム状況確認

【県(災害対策本部等)】

・被害・対応状況、課題抽出、今後の対策等取りまとめ

・防災関係機関等への応援要請・連絡調整

・本部会議・報道資料の取りまとめ(定時・随時)

【県(災害対策本部等)】

・情報発信(テレビ・ラジオ、HP、メール等による災害情報、広域住民避難情報など)